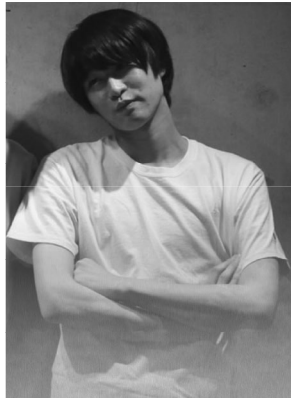


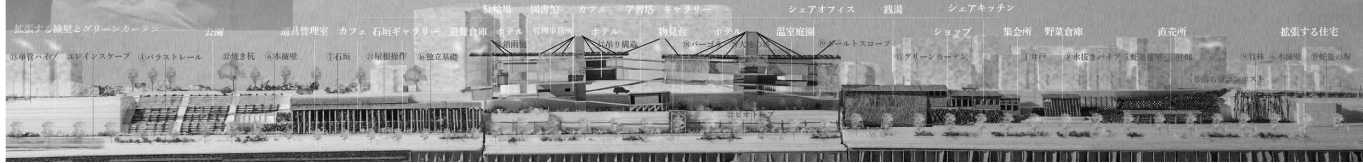
埼玉建築設計監理協会賞

工学院大学建築学部建築デザイン学科 馬場 琉斗  
東京浸透水域 -根となる擁壁の更新と幹となる建築の更新-



東京に浸透水域をつくる。現代の建築、土木は目に見える上層のコンテキストのことしか考えられていないのではないかと。線路に新しい浸透水域という役割を見つけ、大地に蓋をしている擁壁、建築を更新することで、土木の寿命、大地への荒廃した関係、緑地の減少など土木の転換期である現在に、動植物の生息域の拡大、人のコミュニティの創生、新しい風景を見せることはできないか。今後も必要不可欠な土木インフラに対しての新たな共生作法、解決策として浸透していく。

東京浸透水域  
根となる擁壁の更新と幹となる建築の更新



**01 背景** 01-1 土木、建築によって蓋をしてしまった東京

かつての東京は山と谷が繰り返され自然が広がりが、川が流れ生活が広がっていった。現代はその自然に対して土木が覆い、東京を閉った。そんな上塗りした東京は場所性を失いどこかの風景も同じようなものになり大地との関係も失ってしまっている。私はこんな東京に対して今のままで良いのかと漠然とした不安を感じている。

**08 設計提案** 08-1 擁壁に隣接するものを巻き込みながら浸透していく

【現在の擁壁、建築を更新することは擁壁自体の機能改善にも繋がりますが、加えて従来するように他の擁壁、土木、環境にも影響を及ぼさず】

08-2 大地への浸透

現在の擁壁、建築に対して土中環境を考慮した擁壁の更新の仕方を考える。

08-3 隣接への浸透

建築、他の土木と隣接する点を活用し隣接物に対して浸透するように変化をもたらす

**15 配置図** 09 配置図兼地階平面図 1:500

**09 根となる擁壁の更新**

木擁壁 蛇籠擁壁 コンクリート擁壁 石垣の擁壁と建築

**東西断面図**

**10 幹となる建築の更新**

湧り構造

雨水 生活排水 生活排水

大地の層

浄化槽

トラスの層

ガラスの層

雨水操作

風の流れ

植物に対して

**南北断面図**

